

Main table containing race results, horse names, jockeys, and various statistics for the 34th Open Futurity Stakes (GI).

第34回 オープン・フューリティー・ステークス(GI)
(2歳・オープン)・牡・牝馬
発走 15:30

第2000
1.59.9
ナイトレセプション
55 ポニキ
17年12月3日

〔今回推定タイム〕
重 2.01秒台
良 2.03秒台

① 2東⑤5.29
② 西⑥1.1
③ 西⑥2240
④ 502.00.0
⑤ 57川.37.7
⑥ 18.3.3.0
⑦ 8⑧37.3.0
⑧ 中位伸33.3
⑨ 中位伸33.3

本紙の見解 安定性光るフライヤー
4戦2勝②着2回のタイムフライヤー。負けた2戦は共スローペースで、決めた手勝負。逆に時計も上がりもなかった重馬場の秋Sは、大外一氣に伸びての楽勝。スピード、瞬発力というよりむしろ力強いタイド、直線に坂のある中山二千は歓迎。安定性で一歩リードとみて、中心視。資質一流ルカスが相手だが、穴なら前走楽勝トライオン。上位拮抗

柏木の単連
前回の芙蓉Sはファストアブローチに一度外から交わされながら、というより交わされたが、11秒5の最終1ハロンで1馬身以上も差し返し、たサンリヴァルは勝負強い。
3連複
5710
7910
71011
71015
579
5711
5715
7911
7915
WIN5②
出山R
馬単
7-10
7-5
7-9
10-5
7-11
7-15
7-17
3連単
フォーメーション
1着 7
2着 5910
3着 111517
(30点)

中山でどうか、前走1番人気フラットレーは良馬場で巻き返せるのかどうか。

しんぎょのほなご

①リユヌルージュ (六穴)
○斎藤崇師がぶが乗って、良さを出してくれ。初の長距離輸送で強敵相手だが、どれだけやるか楽しみ。

④ロードアックス (好走も)
○奥村豊師前走はスタートが決まり、内容が大幅に改良。距離延長も良かったと思う。今回は初距離初の長距離輸送だが、叫びた上積みは十分。(好走も)

Table with 4 columns (馬番) and 8 rows (タイム/順位) showing race results for various horses.

グリーンチャンネル解説者
黒津 紳一
この競馬は、中山の芝で上り馬が活躍する。...

中山 11R TMイチ推し15ジャンダルム
ラストの伸び脚上々 前走以上の気配

①リユヌルージュ 栗 調 1000 800 600 200 脚いろ
20栗坂助手 589 437 143馬なり
24栗C W良助 手 70.3 54.6 40.4 12.6 7馬なり先

②トーセンク南W稍 54.1 39.0 13.1 6馬なり先
6栗坂横和 555 407 133馬なり併
20栗坂横和 561 397 121一杯併

③ウォーターバルフェ 栗坂 酒学 55.6 40.9 12.6 強めに
6栗坂横和 555 407 133馬なり併
20栗坂酒学 546 395 124一杯併

④ロードアック栗調良 72.8 55.5 40.6 11.7 一杯過ぎ
14栗C W良助 懸 72.4 55.9 40.6 12.5 7未強め

Table with 11 columns (馬番) and 17 rows (タイム/順位) for the 11R race.

24栗C W良助 戸 6F85.9 68.6 53.2 38.5 11.4 7直一杯先
(古1000ディーブオーバース杯の内を走って1騎先着)

⑩ルーカス 南W稍 53.1 38.0 13.1 5馬なり併
7南BW稍助 手 72.6 57.2 42.3 14.7 7馬なり併

⑪フラットレー南W周 70.3 54.1 40.3 12.9 6馬なり併
3栗坂助手 567 415 131馬なり併

⑫ジュンヴァロ 栗坂 助手 52.7 38.8 13.4 馬なり遅
3栗坂助手 597 439 147馬なり 10栗坂助手 559 404 127未強め

⑬ステイフーリッシュ 栗坂 中谷 52.3 38.3 12.9 一杯併
20栗坂中谷 557 410 133馬なり 24栗坂中谷 529 383 126G前強先

⑭ワーゲン栗B良 66.6 50.7 36.9 12.0 4一杯過ぎ
24栗C W良助 手 6F84.2 69.0 54.2 39.7 13.5 6一杯過ぎ

⑮ジャンダルム栗調良 6F83.0 65.8 51.3 38.1 11.6 7一杯過ぎ
6栗坂助手 579 427 145馬なり

○浜田師前走はスタートが決まり、内容が大幅に改良。距離延長も良かったと思う。今回は初距離初の長距離輸送だが、叫びた上積みは十分。(好走も)

○津田師前走は道悪でノメっていたし、いろいろと小さなことが重なり力を発揮できず。過去の動きに迫り込めず、調子は間違ってなく向上が。ポテンシャルからも見劣らないはず。

○友道師前走は先着する形になるはず。根性がある前走時の騎手は言っていたし、中山に変わっても問題ないはず。

○北出師前走はステッキを使わず勝ってきた。素直で折り合いはつくし、センスがいい。中1週の後の中10日に疲れたなきさ週の後で流れに乗りたい。

○武井師前走は経験しておきたくてこつ。狭いところでも対応可能。牡馬相手でもバリは強いが、楽しみはある。

北島三郎さんはキタサンブラックを神さまからの贈りものと言ったが、また今年もキタサンブラックの贈りものかもしれない。...

スタッフ予想

Table with 11 columns (馬番) and 17 rows (タイム/順位) for staff predictions.

◆ノーザンファーム生産馬の成績

24年サトノネブチオン	1着	7
24年サトノネブチオン	2着	7
24年サトノネブチオン	3着	7
24年サトノネブチオン	4着	7
24年サトノネブチオン	5着	7
24年サトノネブチオン	6着	7
24年サトノネブチオン	7着	7
24年サトノネブチオン	8着	7
24年サトノネブチオン	9着	7
24年サトノネブチオン	10着	7
24年サトノネブチオン	11着	7
24年サトノネブチオン	12着	7

25年ベルキヤニオン
26年シャイニングレイ
27年ハートレー
28年グロブシアター

ホープフルステークス 過去5回の成績

24中山11	サトノネブチオン	牡	55	ムア	2.01.6	18	17	16	17	1740
芝2000	マイネルストラノ	牡	55	柴田大		2	2	2	2	28380
良13頭	カミノタサハラ	牡	55	蛸名		2	2	2	2	49850
25中山2	エアアンセム	牡	55	ルメール	2.02.0	5	1	7	4	2360
芝2000	ベルキヤニオン	牡	55	ムア		1	1	1	1	2520
良17頭	クラリティンチ	牡	55	田中勝		2	2	2	2	7420
26中山10	シャイニングレイ	牡	55	川田	2.01.9	3	1	3	3	450
芝2000	コマート	牡	55	藤崎		1	1	1	1	9330
良17頭	フラックパゴ	牡	55	戸崎		0	0	0	0	15000
27中山6	ハートレー	牡	55	ボクマン	2.01.8	9	1	7	3	740
芝2000	ロードクエスト	牡	55	Mデム		1	1	1	1	1220
良12頭	バティステイーニ	牡	55	ルメール	1.1	8	1	7	6	2850
28中山2	シャイニングレイ	牡	55	ルメール	2.01.3	12	1	1	1	150
芝2000	マイネルフェーン	牡	55	シュミノ		1	1	1	1	2380
良14頭	グロブシアター	牡	55	福永		1	1	1	1	2670

表右端の金額は、上から単勝・馬連・馬単の払戻し金額です。
*内は人気

1馬連平均 8760円

連対馬の半数が7人気以下の伏兵。波乱含みの2歳戦。

1戦 4、2戦 3、3戦以上 3。連対9頭は2戦目までに勝ち上がっていた。

2勝利数
2勝利馬は「1210」と今イチ。ただ、芝2戦2勝なら②③①着。連対8頭は千八〜二千で勝ち鞍あり。

3生産者
ノーザンファームの生産馬が4勝2着1回。
12ジュンヴァーロ

藤本貴久の「叩き」
中山7Rキングドラゴン
今年も「叩き」を御覧頂き有り難うございました。こいつの推奨馬外して買いつつなんて言われぬよう来年はちよっち頑張りますんで、またよろしくです。「直線壁で追えたのは僅か。まともなら」

勝負の一手
中山11Rトライ
有馬記念のレース後。ファンがコースに背を向けてスタンドを振り返り、祝福の声を上げていたのには少し驚かされたが、中山大障害といふスパーホースの存在が競馬シーンの盛り上がり不可欠であることを再認識させられた。推奨馬は初戦の上がり2F優秀。一気に主役候補へ。

小本曾大祐
今年も愛読ありがとうございました。年末ギリギリまで競馬三昧、今日も東西から。阪神10Rはニシノカブネ。四角で6頭ぶん外々を回りながら追い比べを制した、4走前が強い競馬。休養明けの前走は、中団インで手ごたえ十分で、好線外出してきましたが、直線メンパー相手に、コンマ5秒差なら好発進。中間は意欲的に追われ、状態の上積み大。配当増しの関西遠征で注目！
中山10Rはステイフリーリッシュ。前走は千通過64秒4のスピード。ペース、好位とはいえず、4頭ぶん外々の折り合いをつづらば位置どり。この位置からの末脚勝負で、2着に2馬身半差の圧勝劇。この条件向きの器用さと瞬発力を兼ね備えた馬。先物買いで高配当を狙い頂きます。

「最速上がりは太字で表記」
成績欄の各馬の上がり時計で「レ」の最速上がりが計測時は太字で表記してあります。

《各予想者の「◎」印に注目》
予想欄の各馬の印は、各スタッフが一昨日頭厳選したもので、「その日一番買いたい馬」を示しています。

これだけ決まり
大川浩史
前走4コーナー不利
エフティスパークル(中山12R)は中山芝(2001)。もう1勝は函館というハービンジャー産駒らしい成績。時計のかかる馬場は歓迎だが不良まで行ってしまうと動けないのも「らしい」ところで、前走(不良)は度外視。中山での唯一の着外は前々走(4着)だが、4コーナーで内から弾かれ

今年から中山のホープフルSがGIに昇格した(旧ラジオNIKKEI杯2歳Sを受け継いだ)ので第34回。GIIの昨年の勝ち馬はのちの日本ダービー馬レイデオロ。今年もそんな勝ち馬が出現するだろうか▲
男馬も女馬も出走できるGIなので、勝ち方しだいではここから最優秀2歳牡馬や牝馬が誕生する可能性もある。

今年の場合、牝馬は阪神JFを勝って3戦3勝(重賞2勝)のラッキーライラック。牡馬は朝日杯Fを圧勝した3戦3勝(重賞2勝)のダノンプレミアム(重賞2勝)が、ちぎって勝つたりするなら分らない。最優秀2歳馬に対する考え方は簡単ではなく、規定もない。2歳GI(1つずつ)の勝ち馬がほぼ自動的にチャンピオンに選ばれてきたが、昨年だってレイデオロの票が多数あった。最大の理由は、「あなた馬は2歳戦のチャンピオンです」とされるより、「最高の来季のチャンピオン候補です」と表彰された方が、多くのオーナーは

嬉しいからである▲
早くから2歳戦の多い北米では、1976年、たった3戦3勝だけのシアトルスルーが2歳チャンピオンに選ばれた。翌年、同馬は9連勝のまま史上初の無敗の3冠馬となった。
1972年、ハイセイコーと同期のセクレタリアトは9戦7勝で2歳チャンピオンに選ばれた。同時に3歳以上馬を押しつけた年度代表馬だった。翌年、歴史的3冠馬となった。
最優秀2歳馬は、キャリアが浅いからいっても難しいが、このGIの誕生によって、もっともホープフルな馬が選ばれる時代になったのである▲
未来に羽ばたいて欲しい馬は多いが、注目は関西馬ながら新馬勝ちの新潟はともかく、2戦目も中山で勝ち、早くも田辺裕信騎手を主戦に決めたかのように、またまた中山に遠征してきた2戦2勝のサンリヴァール。父ルーラーシップは、オークス馬エアグルーヴと、日本ダービー馬キングダムハメハの組み合わせ。母は、オークス馬ウメノファイバーに、皐月賞馬アグネスキオンという配合。展望を関東で行われるクラシックに絞っている▲(相木)

3/3ページ